



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月12日

東

上場会社名 株式会社 F i n a t e x t ホールディングス 上場取引所
 コード番号 4419 URL <https://hd.finatext.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 C E O (氏名) 林 良太
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 C F O (氏名) 伊藤 祐一郎 (TEL) 03(6265)6828
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,843	35.1	188	△15.8	167	△21.8	565	54.2
2026年3月期第1四半期	2,104	28.0	223	29.7	214	27.4	366	212.8

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 698百万円(66.6%) 2026年3月期第1四半期 419百万円(238.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	10.90	10.61
2026年3月期第1四半期	7.15	7.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	25,093	12,328	44.2
2026年3月期	23,286	11,561	45.2

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 11,085百万円 2026年3月期 10,517百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	40.2	3,338	75.6	3,305	77.5	2,322	53.5	44.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	51,898,340株	2026年3月期	51,898,340株
2027年3月期1Q	58株	2026年3月期	58株
2027年3月期1Q	51,898,282株	2026年3月期1Q	51,300,207株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、「金融をサービスとして再発明する」をミッションに掲げております。このミッションのもと、金融サービス事業者向けの次世代クラウド基幹システムの提供等を通じて、パートナー企業とともに人々にとって遠い存在である金融サービスを暮らしに寄り添ったものにすることを目指しております。

今般、グローバルな経済環境の影響を受け、日本経済も見通しが不透明な状況が続いています。しかしながら、金融サービスにおけるデジタルトランスフォーメーションの流れは衰えることなく、当社グループが提供するサービスのニーズもより一層高まっていると認識しております。

このような事業環境のもと、当第1四半期連結累計期間においては、継続的な事業成長を実現するため、引き続き人材採用や機能拡充に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、金融インフラストラクチャ事業のビジネスが伸長し、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,843,902千円（前年同期比35.1%増）、営業利益は188,012千円（前年同期比15.8%減）、経常利益は167,802千円（前年同期比21.8%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、回収可能性が認められた繰延税金資産の増加に伴う法人税等調整額の計上などにより565,523千円（前年同期比54.2%増）となりました。

なお、当社グループの売上高はお客様の予算執行の関係により、契約上の納期が下期に集中する傾向が高いため、上期における売上高に比べ下期の売上高が多くなるといった季節的変動があります。

セグメント別の業績は以下の通りです。

(i) 金融インフラストラクチャ事業

金融インフラストラクチャ事業では、金融サービスを運営するために必要となる複雑な基幹システムを、クラウド上でSaaS型のシステムとして顧客に提供しております。

証券インフラストラクチャビジネスでは、サービス提供しているパートナーへの保守運用サービス、合意済みのパートナーに向けた初期開発に注力しました。当第1四半期連結累計期間においては、新規パートナーへの開発支援によるフロー収益と投資一任サービスを提供するパートナーの顧客が保有するAUMの拡大等に伴って増加する従量課金収益が売上高の拡大に寄与しました。サービスの導入状況については、当第1四半期連結会計期間において、新たに株式会社アリスタゴラ・フィナンシャル・サービスを含む2社が「DWM」を活用したサービスを開始しました。また、株式会社クレディセゾンと協業で運営していた、つみたて投資サービス「セゾンポケット」がサービスを終了し、セゾン投信株式会社が提供する直販ネット取引サービス「セゾンとつづく」へ承継された結果、「BaaS」上での稼働サービス数は29サービス（前連結会計年度末時点：28サービス）となっております。

保険インフラストラクチャビジネスでは、新規パートナーの獲得に向け、当社グループの保険基幹システムである「Inspire」の機能拡充に注力しました。当第1四半期連結累計期間においては、「Inspire」の初期導入開発によるフロー収益が売上高の拡大に寄与しました。初期導入については、新たに1社が「Inspire」を導入しました。この結果、「Inspire」の導入企業数は18社（前連結会計年度末時点：17社）となっております。

クレジットインフラストラクチャビジネスでは、引き続きクレジットインフラストラクチャ「Crest」の基盤開発に注力しました。当第1四半期連結累計期間においては、株式会社TERASSが「Crest」を構成する信用情報モジュール機能を導入いたしました。この結果、「Crest」上での稼働社数は6社（前連結会計年度末時点：5社）となっております。

コスト面については、証券インフラストラクチャビジネス、保険インフラストラクチャ、及びクレジットインフラストラクチャビジネスともに、将来のビジネス拡大に備えるために、引き続き人材採用を中心とした先行投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の金融インフラストラクチャ事業の売上高は1,798,174千円（前年同期比23.3%増）、セグメント利益は14,643千円（前年同期比は92%減）となりました。

(ii) フィンテックシフト事業

フィンテックシフト事業では、金融機関向けにデジタルトランスフォーメーション及びデジタルマーケティングの支援を行っております。

当四半期は、システム構築を支援した既存顧客向けに追加機能拡充の支援等を進めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のフィンテックシフト事業の売上高は281,000千円（前年同期比57.9%増）、セグメント損失は72,362千円（前年同期は82,847千円のセグメント損失）となりました。

(iii) データAI事業

データAI事業は、企業の持つビッグデータを主に金融業界及び不動産業界向けに提供するデータサービスビジネス、生成AIの活用を支援するデータAIソリューションビジネスを行っております。

データAIサービスでは、昨年度にリリースした不動産業界向けソリューションである「DataLensHub」の顧客獲得に注力したほか、データ統合サービス「DataLinc」の開発の機能拡充を行いました。

データAIソリューションビジネスでは、データウェアハウスから業務アプリケーションの開発に注力したほか、個人情報・機密データなどの外部に送信できないデータのAI処理を可能にする「ローカルLLMテキスト処理基盤」の構築を行いました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のデータAI事業の売上高は764,727千円（前年同期比63.1%増）、セグメント利益は217,293千円（前年同期比347.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産合計は25,093,229千円となり、前連結会計年度末に比べて1,806,375千円増加いたしました。

流動資産は22,745,400千円となり、前連結会計年度末と比較して997,321千円増加いたしました。これは主に売掛金が1,199,675千円、営業貸付金が1,108,396千円が減少した一方、現金及び預金が1,468,834千円、証券業における預託金が1,190,000千円、契約資産が335,752千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は2,347,828千円となり、前連結会計年度末と比較して809,053千円増加いたしました。これは主に、通期業績の予測数値及び今後の業績動向を総合的に勘案し回収可能性が認められた繰延税金資産の計上により投資その他の資産が705,627千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は12,764,502千円となり、前連結会計年度末と比較して1,039,191千円増加いたしました。

流動負債は12,008,843千円となり、前連結会計年度末に比べて1,231,551千円増加いたしました。これは主に証券業における預り金が1,218,163千円が増加したことによるものであります。

固定負債及び特別法上の準備金は755,659千円となり、前連結会計年度末に比べて192,360千円減少いたしました。これは長期借入金が192,360千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は12,328,726千円となり、前連結会計年度末に比べて767,183千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益等により利益剰余金が565,523千円増加し、新株予約権が83,784千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月12日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,932,027	5,400,862
売掛金	2,259,721	1,060,045
契約資産	543,013	878,765
営業貸付金	4,457,810	3,349,414
買取債権	57,752	74,382
証券業における預託金	7,210,000	8,400,000
証券業における信用取引資産	49,896	38,497
証券業における短期差入保証金	2,019,475	2,169,581
証券業における立替金	180,238	205,503
未収入金	675,966	699,288
その他	420,240	501,196
貸倒引当金	△58,064	△32,137
流動資産合計	21,748,078	22,745,400
固定資産		
有形固定資産	114,366	119,412
無形固定資産	767,251	865,630
投資その他の資産	657,158	1,362,785
固定資産合計	1,538,775	2,347,828
資産合計	23,286,854	25,093,229

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,047	78,603
契約負債	239,633	234,828
未払金	853,118	751,788
証券業における預り金	6,576,899	7,795,063
証券業における受入保証金	9,433	8,239
1年内返済予定の長期借入金	900,240	834,440
未払法人税等	426,220	79,584
賞与引当金	-	56,585
その他	1,728,697	2,169,709
流動負債合計	10,777,291	12,008,843
固定負債		
長期借入金	817,660	625,300
資産除去債務	65,690	65,690
固定負債合計	883,350	690,990
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	64,669	64,669
特別法上の準備金合計	64,669	64,669
負債合計	11,725,310	12,764,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	183,012	183,012
資本剰余金	12,310,832	12,310,832
利益剰余金	△1,996,344	△1,430,820
自己株式	△73	△73
株主資本合計	10,497,427	11,062,951
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	20,099	22,750
その他の包括利益累計額合計	20,099	22,750
新株予約権	335,432	419,216
非支配株主持分	708,584	823,808
純資産合計	11,561,543	12,328,726
負債純資産合計	23,286,854	25,093,229

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,104,954	2,843,902
売上原価	753,119	917,002
売上総利益	1,351,835	1,926,899
販売費及び一般管理費	1,128,607	1,738,887
営業利益	223,227	188,012
営業外収益		
受取利息	3,015	1,616
助成金収入	-	1,025
その他	1,721	502
営業外収益合計	4,736	3,144
営業外費用		
支払利息	4,743	10,684
為替差損	2,884	8,019
消費税等差額	3,265	3,831
その他	2,368	818
営業外費用合計	13,261	23,354
経常利益	214,701	167,802
税金等調整前四半期純利益	214,701	167,802
法人税、住民税及び事業税	27,911	69,356
法人税等調整額	△237,948	△579,692
法人税等合計	△210,036	△510,336
四半期純利益	424,738	678,139
非支配株主に帰属する四半期純利益	57,874	112,615
親会社株主に帰属する四半期純利益	366,863	565,523

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	424,738	678,139
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△5,527	20,176
その他の包括利益合計	△5,527	20,176
四半期包括利益	419,211	698,315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	364,078	575,692
非支配株主に係る四半期包括利益	55,133	122,622

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融インフラ ストラクチャ 事業	フィンテック シフト事業	データAI事業	計		
売上高						
証券インフラストラクチャ ビジネス	944,973	—	—	944,973	—	944,973
保険インフラストラクチャ ビジネス	275,667	—	—	275,667	—	275,667
クレジットインフラストラク チャビジネス	61,514	—	—	61,514	—	61,514
マーケティングビジネス	—	11,616	—	11,616	—	11,616
ソリューションビジネス	—	166,374	—	166,374	—	166,374
データAIサービス (金融業界向け)	—	—	287,277	287,277	—	287,277
データAIサービス (不動産業界向け)	—	—	46,211	46,211	—	46,211
データAIソリューション ビジネス	—	—	135,521	135,521	—	135,521
顧客との契約から生じる収益	1,282,155	177,991	469,010	1,929,157	—	1,929,157
その他の収益	175,796	—	—	175,796	—	175,796
外部顧客への売上高	1,457,952	177,991	469,010	2,104,954	—	2,104,954
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,457,952	177,991	469,010	2,104,954	—	2,104,954
セグメント利益又は損失(△)	190,124	△82,847	48,537	155,814	67,412	223,227

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額67,412千円は、報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額67,412千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融インフラ ストラクチャ 事業	フィンテック シフト事業	データAI事業	計		
売上高						
証券インフラストラクチャ ビジネス	1,005,918	—	—	1,005,918	—	1,005,918
保険インフラストラクチャ ビジネス	353,939	—	—	353,939	—	353,939
クレジットインフラストラク チャビジネス	160,744	—	—	160,744	—	160,744
マーケティングビジネス	—	8,369	—	8,369	—	8,369
ソリューションビジネス	—	272,631	—	272,631	—	272,631
データAIサービス (金融業界向け)	—	—	305,460	305,460	—	305,460
データAIサービス (不動産業界向け)	—	—	98,550	98,550	—	98,550
データAIソリューション ビジネス	—	—	360,715	360,715	—	360,715
顧客との契約から生じる収益	1,520,603	281,000	764,727	2,566,331	—	2,566,331
その他の収益	277,571	—	—	277,571	—	277,571
外部顧客への売上高	1,798,174	281,000	764,727	2,843,902	—	2,843,902
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,798,174	281,000	764,727	2,843,902	—	2,843,902
セグメント利益又は損失(△)	14,643	△72,362	217,293	159,573	28,438	188,012

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額28,438千円は、報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額28,438千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称変更)

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメント「ビッグデータ解析事業」について事業内容をより明確に表現するため、「データAI事業」に名称を変更しています。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

(収益の分解情報の名称変更)

当第1四半期連結会計期間より、事業内容をより明確に表現するため、「データサービス(金融)」、「データサービス(不動産)」から「データAIサービス(金融業界向け)」、「データAIサービス(不動産業界向け)」と記載する方法に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	34,614千円	46,632千円
のれんの償却額	－〃	6,228〃